

17番	柴田利勝 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1、ドローンの導入と有効活用について</p> <p>【質問主旨】 今日ドローン活用は活発になっており、その活用の一例を見れば、従来航空写真はある程度の高さから撮影していたが、高さに技術上限界があったようである。しかし、ドローンであれば必要な高さからそれが出来る。それを活かして、例えば火災での動画撮影により消火活動に結び付けたり、自然災害時には、落石やがけ崩れなどの現場確認とともに、救助資材の的確な運搬にも活用できる。また、農政事業や観光パンフレットの写真もバラエティーに富んだ撮影が可能となる。このようなことからドローン活用範囲</p>	<p>(1) ドローンを活用する可能性について</p> <p>(2) ドローン活用分野の提案について</p>	<p>① 先進自治体が、どの様な分野でドローンを活用しているかといった実績について、どの程度把握しているか。</p> <p>② 今後も更に技術が進歩して、自治体でのドローン活用分野が広がると思うが、本市はドローンを活用できる分野をどのように考えているか。</p> <p>③ 本市でドローンを活用していくため、現状の課題は何か。</p> <p>④ また、その課題の解決は可能なのか。</p> <p>① 現在、消防本部でドローンを活用することで消防効果が上がっていると思うが、具体的な活用事例や今後想定される活用方法について伺う。</p> <p>② 社会インフラ（道路・橋梁・河川・公園などだけでなく、公共施設も含む）の老朽化対策など適切な維持管理の活用に効果があると考えますが、導入を検討してはどうか。</p> <p>③ 道路は市民生活や産業活動を支える基盤であるが、渋滞が解消されない区間を改良して欲しいという声もある。そうした市民の要望に応え、計画的に改良を実現していくためには、的確な現状把握が急務と考えるが、それを実現するため導入を検討してはどうか。</p> <p>④ 都市整備部が所管する建築確認、境界の確認、道路や橋梁・河川等の現状確認、不適切な土地利用の確認だけでなく、災害発生時の迅速な現状確認にも活用が出来る可能性は十分あると考えるが、導入の考えはどうか。</p> <p>⑤ 農業分野では、鳥獣被害の状況、耕作放棄地の状況、自然災害が発生した際の把握等、現状を迅速に把握することで素早い対応を実現することが出来ると思うが、そうした分野への導入を検討してはどうか。</p> <p>⑥ 観光分野では、これまでにない景色を見せられる等、活用の可能性が広げやすい</p>

(1 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

17番	柴田利勝 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>は多岐にわたり、今後も益々発達するものと思われる。本市としてもドローン活用を研究し、その有効活用を期待して質問する。</p>	<p>(3)ドローン活用の実現に向けて</p>	<p>と考えるが、導入の考えはないか。</p> <p>① 提案したドローンの活用策を実現するためには、専門業者に任せるところと、職員でも運用可能なところを区分することが肝要と考えるが、そうした観点での整理はどこまでされているか。</p> <p>② 京都府や神戸市の事例を見ると、専門業者に任せる範囲について、災害時運用協定を結んでいる他、職員向けの講習会も実施されている。そうした先進事例を参考に、今後、職員の育成を図る考えはあるか。</p> <p>③ コロナ禍などによって、未来への不安が払拭できない不安定な中で、新しい投資をすることに慎重な議論は必要であるが、提案したドローン活用は、課題解決の一助となり得ると考えられる。その実現に向けた市の考えを伺いたい。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。